

総合診療研修		
一般目標		
【プログラムA、プログラムB】共通		
患者中心の全人的医療を理解し歯科医師としてのプロフェッショナリズムを涵養し、将来専門とする分野にかかわらず、歯科医学及び歯科医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、日常臨床において高頻度に遭遇する歯科疾患・障害に対して適切に対応できるようにするために、基本的な診療能力（知識・技能・態度）を身につける。プログラムAは5か月間、プログラムBは3か月間、総合診療科において総合研修必須ポイント取得に努める。未達成の場合、専門診療科研修に優先して総合診療研修を行う。		
到達目標項目		
(1)基本的診察・検査・診断・治療計画		
(2)高頻度治療等		
(3)患者管理		
(4)歯科専門職間の連携		
(5)多職種連携、地域医療		
(6)地域保健		
(1)基本的診察・検査・診断・治療計画		
一般目標		
患者の状態に配慮した適切かつ効率的な歯科保健医療を提供するために、基本的な診察・検査・診断及び治療計画立案に関する知識・技能・態度を身につける。		
行動目標	必要症例数	修了判定の評価基準
① 患者の心理的・社会的背景を考慮した上で、適切に医療面接を実施する	(初・再診基本項目) 50	評価表を用い診療室で評価する。 2症例以上の合格を必須とする。
② 全身状態を考慮した上で、顎顔面及び口腔内の基本的な診察を実施し、診察所見を解釈する	5	症例発表2症例を必須とする。
③ 診察所見に応じた適切な検査を選択、実施し、検査結果を解釈する。		
④ 病歴聴取、診察所見及び検査結果に基づいて歯科疾患の診断を行う		
⑤ 診断結果に基づき、患者の状況・状態を総合的に考慮した上で、考え得る様々な一口腔単位の診療計画を検討し、立案する		
⑥ 必要な情報を整理した上で、わかりやすい言葉で十分な説明を行い、患者及び家族の意思決定を確認する。		

(2)基本的臨床技能等		
一般目標		
日常的に高頻度に遭遇する歯科疾患や機能障害を有する患者に対応するために、基本的な歯科治療に関する技能を身につける。		
行動目標	必要症例数	修了判定の評価基準
① 歯科疾患を予防するための口腔衛生指導、基本的な手技を実践する	25	ケース管理表に従って、総合研修 必須ポイント14,000ポイントを取 得する。
② 一般的な歯科疾患に対応するために必要となる基本的な治療及び管理を実践する		
a. 歯の硬組織疾患	25	
b. 歯髄疾患	5	
c. 歯周病	10	
d. 口腔外科疾患	2	
e. 歯質と歯の欠損	5	
f. 口腔機能の発達不全、口腔機能の低下	5	
③ 基本的な応急処置を実践する。	4	
④ 歯科診療を安全に行うために必要なバイタルサインを観察し、全身状態を評価する。	50	
⑤ 診療に関する記録や文書（診療録、処方せん、歯科技工指示書等）を作成する。		
⑥ 医療事故の予防に関する基本的な対策について理解し、実践する。	2	医療安全講習会を2回受講しレ ポートを提出する。
(3)患者管理		
一般目標		
基礎疾患など個々の患者が有する背景に適切に対応するために、歯科治療上必要となる患者管理に関する臨床能力（知識・技能・態度）を身につける。		
行動目標	必要症例数	修了判定の評価基準
① 歯科治療上問題となる全身的な疾患、服用薬剤等について説明する	(初・再診基本項目) 50	ケース管理表に従って、総合研修 必須ポイントを取得する。
② 患者の医療情報等について、必要に応じて主治の医師等と診療情報を共有する		
③ 全身状態に配慮が必要な患者に対し、歯科治療中にバイタルサインのモニタリングを行う		
④ 歯科診療時の主な併発症や偶発症への基本的な対応法を実践する。		
⑤ 入院患者に対し、患者の状態に応じた基本的な術前・術後管理及び療養上の管理を実践する。		
⑥ 診療に関する書類・記録（診療録、処方せん、歯科技工指示書、診療情報提供書等）を作成する。		
⑦ 基本的な歯科疾患の経過管理を行う		
⑧ 患者の全身状態に応じた術前・術後管理を実践する		

(4)患者の状態に応じた歯科医療の提供		
一般目標		
患者の状態やライフステージに合わせた、最適な治療を安全に実施する。		
行動目標	必要症例数	修了判定の評価基準
① 妊娠期、乳幼児期、学齢期、成人期、高齢期の患者に対し、各ライフステージに応じた歯科疾患の基本的な予防管理、口腔機能管理について理解し、実践する。	1	それぞれの項目について1症例以上レポートを作成し、口頭試問に合格する。
② 各ライフステージ及び全身状態に応じた歯科医療を実践する	1	
③ 在宅療養患者等に対する訪問歯科診療を経験する。（選択）	2	訪問診療実施後口頭試問に合格する。
(5)歯科専門職間の連携		
一般目標		
歯科医療の提供にあたり、歯科衛生士、歯科技工士の役割を理解し、連携を図る。		
行動目標	必要症例数	修了判定の評価基準
① 歯科衛生士の役割を理解し、予防処置や口腔衛生管理等の際に連携を図る	5	歯科衛生実地指導の指示書作成を確認する
② 歯科技工士の役割を理解し、適切に歯科技工指示書を作成するとともに、必要に応じて連携を図る。	5	技工指示書作成を確認する
③ 多職種によるチーム医療について、その目的、各職種の役割を理解した上で、歯科専門職の役割を理解し、説明する	2	各施設において1回以上スタッフから評価を受ける。
(6)多職種連携、地域医療		
一般目標		
地域包括ケアシステムにおいて、歯科保健医療の専門家としての役割を果たすために、多職種連携による質の高い歯科保健医療提供に関する知識・技能・態度を身		
行動目標	必要症例数	修了判定の評価基準
① 地域包括ケアシステムについて理解し、説明する	1	それぞれの項目について1症例以上レポートを作成し、口頭試問に
② 地域包括ケアシステムにおける歯科医療の役割を説明する。	1	
④ 訪問歯科診療の実施にあたり、患者に関わる医療・介護関係職種の役割を理解し、連携する。（選択）	2	訪問歯科診療に際し準備／振り返りレポートを作成し口頭試問に合格する。

(7)地域保健		
一般目標		
歯科医師の地域公衆衛生に果たす役割を理解し、地域歯科保健活動に参画できる知識・技能・態度を身につける。		
行動目標	必要症例数	修了判定の評価基準
① 地域の保健・福祉の関係機関、関係職種を理解し、説明する。	1	それぞれの項目について1症例以上レポートを作成し、口頭試問に
② 保健所等における地域歯科保健活動を理解し、説明する。	1	
④ 歯科健診を経験し、地域住民に対する健康教育を経験する。(選択)	2	歯科健診の記録を提出し確認を受ける。
(8)歯科医療提供に関連する制度の理解		
一般目標		
医療の持つ社会的側面の重要性を踏まえ、各種医療制度・システムを理解し、国内外の政策や医学及び医療の最新動向を把握する。		
行動目標	必要症例数	修了判定の評価基準
① 医療法や歯科医師法をはじめとする医療に関する法規及び関連する制度の目的と仕組みを理解し、説明する。	1	それぞれの項目について1症例以上レポートを作成し、口頭試問に合格する。
② 医療保険制度を理解し、適切な保険診療を実践する。	1	
③ 介護保険制度の目的と仕組みを理解し、説明する。	1	

診療科名：第2 総合診療科**一般目標**

【1ヶ月コース・3ヶ月コース共通】

選択コース5か月のうち、週1日総合診療科で研修する場合1か月コースとして扱う。選択コースの他の診療科と調整の上1～5か月コースを設定することができる。選択1か月コースあたりの必要症例数は必修コースの1/5とする。3か月コースであれば3/5となる。

患者の状態に配慮した適切かつ効率的な歯科保健医療を提供するために、基本的な診察・検査・診断及び治療計画立案を実践・習熟する。

日常的に高頻度に遭遇する歯科疾患や機能障害を有する患者に対応するために、基本的な歯科治療に関する技能を身につける。

行動目標

行動目標	必要症例数	修了判定の評価基準
① 患者のトータルペイン（心理・社会的背景、宗教）に配慮する。 ② 病歴（主訴、現病歴、既往歴及び家族歴）聴取を的確に行う。 ③ 身体診察・口腔内診察を実践・習熟する。 ④ 症例に応じた検査を実践・習熟する。 ⑤ 症例に応じた歯科疾患の診断を行う。 ⑥ 医療面接を通じて、患者との信頼関係構築に努める。 ⑦ 科学的根拠に基づき、患者に説明し、同意を得る。（インフォームドコンセントの取得） ⑧ 総合的な治療計画を立案する。	医療面接の流れを連続して経験した場合を1症例として数える。 （①～⑧の流れをすべて経験することが望ましい。）	目標達成の基準として、3症例以上経験し、1症例において総合的な治療計画を立案する。 症例発表1症例以上
⑨ 歯冠修復(クラウンを含む)に関して診査・診断から充填・合着を行い1歯につき1症例とする。	4 症例	各項目1症例を必須とし計6症例以上経験していることが望ましい。
⑩ 歯内治療に関し診査・診断から根管充填まで行い、1歯につき1症例とする。	2 症例	
⑪ 歯周治療に関し、診査・診断から、歯周基本治療(SC・SRP後の再評価まで)を行い1口腔につき1症例とする。	1 症例	
⑫ 補綴治療に関して診査・診断から欠損補綴装置(Br、FD、PD)装着・装着後のフォローまで行い1装置につき1症例とする。	1 症例	
⑬ 救急来院した患者に対し、応急処置(疼痛、外傷、補綴装置等破損)を行なう。	1 患者につき1症例とし、1症例	

診療科名：保存治療科

一般目標

【1ヶ月コース・3ヶ月コース共通】

専門的歯内治療およびMIに基づく審美修復処置の実施に必須の手技を修得する。
 指導歯科医・上級歯科医が研修歯科医に患者を配当し、研修歯科医は指導歯科医・上級歯科医の指導の下、治療を行う。

行動目標	必要症例数		修了判定の評価基準	
	1ヶ月	3ヶ月	1ヶ月	3ヶ月
①歯の硬組織疾患の診査,診断,治療および予防法を説明する。	2 症例	4 症例	基本的診療姿勢のもとで適切に実施された各項目2症例を必須とする。	各項目4症例を必須とする。顕微鏡下により実施された症例を1症例以上含むことを必須とする。
②適切な検査方法を用い、的確な診査、診断する。	2 症例	4 症例		
③基本的診療姿勢及びミラーテクニック、アシスタントワーク（4ハンドシステム）を修得する。	2 症例	4 症例		
④歯内治療におけるラバーダム防湿法（隔壁形成を含む）を実施する。	2 症例	4 症例		
⑤隣接面を含む修復処置を実施する。	2 症例	4 症例		
⑥根面う蝕への対処法（非侵襲的治療および修復処置）を実施する。	2 症例	4 症例		
⑦専門的歯内治療（ラバーダム防湿下での手用器具による根管形成・超音波洗浄、貼薬、根管充填、仮封）を実施する。	2 症例	4 症例		

【3ヶ月コース】

一般目標

マイクロスコープを用いた歯内治療・審美修復処置の基本的な手技を修得する。
 3ヶ月コースは患者配当型を基本とする。

行動目標	必要症例数	修了判定の評価基準
①顕微鏡下による窩洞形成、根管形成を実施する。	1 症例	1 症例

診療科名：歯周病科				
一般目標				
【1ヶ月コース・3ヶ月コース共通】				
歯周疾患の病態を理解し、適切な治療の補助・処置を行うことができる。難度の高い歯周基本治療（根面溝・根分岐部病変を有する歯のSRPなど）技術を習得する。 指導歯科医・上級歯科医の指導のもと、治療・治療補助を行う。（患者配当型） 経験した症例を1症例とする。				
	必要症例数		修了判定の評価基準	
行動目標	1ヶ月	3ヶ月	1ヶ月	3ヶ月
①歯周疾患の検査,診断,治療を説明する。（医療面接）	5症例	15症例	指導歯科医のもとで適切に行われた各項目の必要症例数を必須とする。	指導歯科医のもとで適切に行われた各項目の必要症例数を必須とする。
②適切な検査方法を用い、的確な診断を行い、治療計画を立案する。 （医療面接 症例検討）	2症例	6症例		
③難易度の高い歯周基本治療（根面溝・根分岐部病変を有する歯のSRPなど）を実施する。 （医療面接 治療実施）	4症例	12症例		
【3ヶ月コース】				
一般目標				
1ヶ月コースの内容に加え、歯周外科（フラップ手術、歯周組織再生療法、歯周形成術など）の診療補助を行い、その手技を見学する。				
	必要症例数		修了判定の評価基準	
行動目標				
①歯周外科（フラップ手術、歯周組織再生療法、歯周形成術など）の診療補助を行う。（症例検討 診療補助）	6症例		6症例	

診療科名：義歯科				
一般目標				
【1ヶ月・3ヶ月コース共通】				
難易度の高い欠損補綴治療や顎補綴治療、睡眠時無呼吸症に対する口腔内装置治療の見学または介助を行い、より高度な診察・検査・診断及び治療計画立案に関する知識・態度を身につける。 専門的な補綴治療について見学または介助を行い、必要な知識を身につける。				
行動目標・研修内容	必要症例数		修了判定の評価基準	
	1ヶ月	3ヶ月	1ヶ月	3ヶ月
①患者に配慮した医療面接を見学する。	1症例	1症例	1症例以上	
②上級歯科医・指導歯科医が行う検査結果・所見、診断、治療計画に関する患者への説明および同意を得る過程を見学する。	1症例	1症例	1症例以上	
③補綴装置等の破損や脱離のため緊急来院した患者に対し、応急処置の介助または見学を行う。	1症例	1症例	1症例以上	3症例以上
④欠損補綴治療に関して診査・診断から補綴装置（Br、PD、FD）装着・装着後のフォローまでの見学または介助する。	1症例 （治療の一部）	3症例	1症例以上	3症例以上
⑤顎欠損補綴治療に関して診査・診断から顎補綴装置装着・装着後のフォローまでの治療を見学または介助する。	1症例 （治療の一部）	1症例	目標達成の基準として、2症例以上経験していることが望ましい。	目標達成の基準として、6症例以上経験していることが望ましい。
⑥睡眠時無呼吸症に対する口腔内装置治療に関して診査・診断から口腔内装置装着・装着後のフォローまでの治療を見学または介助する。	1症例 （治療の一部）	1症例		
⑦診療に関する書類・記録（診療録、処方せん、歯科技工指示書、診療情報提供書等）を正確に記載する。	2症例	4症例		

診療科名：口腔インプラント科**【1ヶ月コース】****一般目標**

歯冠の欠損、歯の欠損を有する症例における補綴歯科治療について、欠損に至った原因を含む全顎的な診査・診断、治療計画の立案、インプラントを含んだ治療、機能回復、メンテナンスまでの知識・技能・態度を身につける。

行動目標・研修内容

	必要症例数	修了判定の評価基準
① 適切な医療面接を行い、インプラント治療に必要な検査を説明する。	1症例	1症例
② 検査結果をもとに、インプラント治療の適切な診査、診断をする。	1症例	1症例
③インプラント治療の計画についてカンファレンスにてディスカッションする。	1症例	1症例
④ インプラント埋入手術に補助として参画する。	1症例	1症例
⑤インプラント上部構造の設計、作製、装着の症例検討を行い診療補助を行う。	1症例	1症例
⑥ インプラントのメンテナンスに参画する。	1症例	1症例

【3ヶ月コース】**一般目標**

歯冠の欠損、歯の欠損を有する症例における補綴歯科治療について、欠損に至った原因を含む全顎的な診査・診断、治療計画の立案、インプラントや審美補綴、デジタルデンティストリーを含んだ治療、機能回復、メンテナンスまでの知識・技能・態度を修得する。

行動目標・研修内容

	必要症例数	修了判定の評価基準
① 適切な医療面接を行い、インプラント治療に必要な検査を説明する。	3症例	3症例
② 検査結果をもとに、インプラント治療の適切な診査、診断をする。	3症例	3症例
③ インプラント治療の計画についてカンファレンスにてディスカッションする。	3症例	3症例
④ インプラント埋入手術に参画する。	3症例	3症例
⑤インプラント上部構造の設計、作製、装着の症例検討を行い診療補助を行う。	3症例	3症例
⑥ インプラントのメンテナンスに参画する。	3症例	3症例
⑦ 審美補綴治療の計画の症例検討を行う。	2症例	オールセラミッククラウンなど 保険適応外治療を2症例
⑧ 審美補綴治療の診療補助として治療に参画する。	2症例	
⑨ デジタルデンティストリーを応用した補綴治療の症例検討を行い、治療の診療補助として参画する。	2症例	CAD/CAMシステムを用いた 保険適応外治療を2症例

診療科名：口腔顎顔面外科

一般目標

【1ヶ月コース・3ヶ月コース共通】

口腔外科疾患の病態と臨床経過を把握する。また全身病態との関連を把握して医療面接と口腔・身体診察から得られた情報をもとに必要な検査の適否を判断でき、結果の解釈ができる指導歯科医・上級歯科医が研修歯科医に患者を配当し、研修歯科医は指導歯科医・上級歯科医の指導の下、診療を行う。（患者配当型）

行動目標・研修内容	必要症例数		修了判定の評価基準	
	1ヶ月	3ヶ月	1ヶ月	3ヶ月
① 口腔外科的疾患の診査、診断、治療を説明する。	5症例	15症例	5症例以上	15症例以上
② 適切な検査方法を用い、的確な診査、診断する。	5症例	15症例	5症例以上	15症例以上

【1ヶ月コース】

一般目標

有病者患者の普通抜歯適応症例、歯性感染症、嚢胞性疾患、軟組織外傷の診断から治療まで修得する。入院患者の担当医となり、治療計画、患者説明、手術、周術期管理、退院指導を行う。小手術や全身麻酔手術を含めた周術期管理を行うために必要な知識、態度、技能を修得する。

行動目標・研修内容	必要症例数	修了判定の評価基準
① 有病者患者の普通抜歯術を実施する。	5症例	全体で5症例を経験する。5症例に満たない場合は診療補助や症例検討で補う。入院症例を1症例以上経験する。5症例以上
② 歯性感染症治療を実施する。		
③ 嚢胞性疾患治療を実施する。		
④ 軟組織縫合術を実施する。		
⑤ 入院管理に必要な検査を説明する。		
⑥ 入院管理下における口腔外科的疾患の治療に参画する。		

【3ヶ月コース】**一般目標**

有病者患者の普通抜歯・簡単な埋伏歯抜歯症例、歯性感染症、嚢胞性疾患、歯・歯槽骨外傷、軟組織外傷、顎関節脱臼、の診断から治療まで修得する。小手術や全身麻酔手術を含めた周術期管理を行うために必要な知識、態度、技能を修得する。入院患者の担当医となり、治療計画、患者説明、手術、周術期管理、退院指導を行う。口腔機能低下症、摂食嚥下障害治療を実施する。

行動目標・研修内容

行動目標・研修内容	必要症例数	修了判定の評価基準
① 有病者患者の普通抜歯術	15症例	全体で15症例を経験する。15症例に満たない場合は診療補助や症例検討で補う。入院症例を3症例以上経験する。
② 歯性感染症治療を実施する。		
③ 簡単な埋伏歯抜歯術を実施する。		
④ 嚢胞性疾患治療を実施する。		
⑤ 歯の整復固定を実施する。		
⑥ 軟組織縫合術を実施する。		
⑦ 歯根端切除術を実施する。		
⑧ 顎関節脱臼整復術を実施する。		
⑨ 入院管理に必要な検査を説明する。		
⑩ 入院管理下における口腔外科的疾患の治療に参画する。		

診療科名：口腔内科・口腔外科				
一般目標				
【1ヶ月コース・3ヶ月コース共通】				
口腔外科疾患の病態と臨床経過を把握する。また全身病態との関連を把握して医療面接と口腔・身体診察から得られた情報をもとに必要な検査の適否を判断でき、結果の解釈ができる。 指導歯科医・上級歯科医の指導の下、診療を行う。（患者配当型）				
	必要症例数		修了判定の評価基準	
行動目標・研修内容	1ヶ月	3ヶ月	1ヶ月	3ヶ月
①医療面接において口腔外科的疾患の診査、診断、治療を説明する。	5症例	15症例	5症例以上	15症例以上
②適切な検査方法を用い、的確な診査、診断する。	5症例	15症例	5症例以上	15症例以上
【1ヶ月コース】				
一般目標				
有病者患者の普通抜歯適応症例、歯性感染症、顎関節症、粘膜疾患の診断から治療まで修得する。入院患者の担当医となり、治療計画、患者説明、手術、周術期管理、退院指導を行う。小手術や全身麻酔手術を含めた周術期管理を行うために必要な知識、態度、技能を修得する。				
行動目標	必要症例数		修了判定の評価基準	
有病者患者の普通抜歯術、歯性感染症治療、顎関節症治療、粘膜疾患の症例検討、診療補助、治療の実践をする。	5症例		有病者患者の普通抜歯術、歯性感染症治療、顎関節症治療、粘膜疾患の治療等を行い、全体で5症例を経験する。5症例に満たない場合は診療補助や症例検討で補う。入院症例を1症例以上経験する	

【3ヶ月コース】

一般目標

有病者患者の普通抜歯・簡単な埋伏歯抜歯症例、歯性感染症、歯・歯槽骨外傷、軟組織外傷、嚢胞性疾患、顎関節脱臼、顎関節症、粘膜疾患の診断から治療まで修得する。小手術や全身麻酔手術を含めた周術期管理を行うために必要な知識、態度、技能を修得する。入院患者の担当医となり、治療計画、患者説明、手術、周術期管理、退院指導を行う。

行動目標

有病者患者の普通抜歯術、歯性感染症治療、顎関節症症例治療、粘膜疾患症例治療、簡単な埋伏歯抜歯術、歯の整復固定、軟組織縫合術、歯根端切除術、顎関節脱臼整復術、を実施する。入院管理に必要な検査を説明する。入院管理下における口腔外科的疾患の治療に参画する。

必要症例数

15症例

修了判定の評価基準

感染症治療、顎関節症治療、粘膜疾患治療の実践、簡単な埋伏歯抜歯術、歯の整復固定、軟組織縫合術、歯根端切除術、顎関節脱臼整復術の治療等を行い、全体で15症例を経験する。15症例に満たない場合は診療補助や症例検討で補う。入院症例を3症例以上経験する。

診療科名：リスク管理センター（DEMCOM）				
一般目標				
【1ヶ月コース・3ヶ月コース共通】				
<p>さまざまな全身疾患をもち、複数の薬剤を服用している患者(いわゆる有病者)の安心安全な歯科医療を実現するために、適切な病歴聴取ができ、得られた薬剤情報、バイタルサイン、心電図および血液検査データ、医師からの医療情報などを含めて包括的に理解できる。そのうえで、これらの医療情報をもとに、どのような全身的偶発症がどの程度の頻度で発生しうるかを推定し、そのリスクを低下するための医学的エビデンスに基づいたリスク管理方法を構築できる。</p> <p>研修歯科医は指導歯科医の指導の下にリスクマネジメントを行う。（患者配当型）</p>				
行動目標	必要症例数		修了判定の評価基準	
	1ヶ月	3ヶ月	1ヶ月	3ヶ月
①有病者に多い全身疾患について病態、治療法、薬剤、歯科治療においておこりうる全身的偶発症などを説明する。	修了判定の評価基準を参照	修了判定の評価基準を参照	ASA physical status 2-3の有病者のプレゼンテーション	
			5症例	15症例
②頻度の高い全身疾患を併存する有病者の医学的リスク管理方法を説明する			リスク管理に最小限必要な医学情報を医療面接、理学的検査、コンサルテーションなどから収集できるかどうかを評価する	リスク管理に最小限必要な医学情報を医療面接、理学的検査、コンサルテーションなどから収集し、心電図モニタリング、静脈路確保などを含む実際のリスクマネジメントを行えるかどうかを評価する

【1ヶ月コース】

一般目標

各外来から紹介された有病者の医療面接、コンサルテーションなどを行い、得られた医学情報に基づいてプレゼンテーションを行い、エビデンスに基づいたリスク管理方法の構築を行うまでを修得する。

行動目標

必要症例数

修了判定の評価基準

①医療面接、バイタルサイン測定、プレゼンテーションを実施する。

症例報告形式で患者医学情報、全身的偶発症リスク、そのリスク管理方法のプレゼンテーションを行い、適切かどうかを諮問し、合格1例以上

【3ヶ月コース】

一般目標

有病者の全身疾患、医学的情報についてプレゼンテーションを行い、医学的エビデンスに基づいたリスク管理方法を構築し、心電図モニタリング、静脈路確保などを含む実際のリスクマネジメントの実施までを修得する。

行動目標

必要症例数

修了判定の評価基準

①医療面接、バイタルサイン測定、プレゼンテーションを行い、心電図モニタリング、静脈路確保などを含む実際のリスクマネジメントを実施する。

症例報告形式で患者医学情報、全身的偶発症リスク、そのリスク管理方法のプレゼンテーションを行い、諮問により評価し、さらに、実際の心電図測定と解析、静脈路確保などの手技が適切かどうかを評価し、合格3例以上

診療科名：歯科麻酔科・ペインクリニック

一般目標

【1ヶ月コース・3ヶ月コース共通】

患者の病態と臨床経過を把握し、また全身病態との関連を把握して医療面接から得られた情報をもとに必要な検査の適否を判断でき、結果の解釈ができる。周術期管理を行うために必要な知識、態度、技能を修得する。

研修歯科医は指導歯科医・上級歯科医の指導の下、治療を行う。（患者担当型）

	必要症例数	修了判定の評価基準	
①周術期管理に必要な患者情報を患者に説明し症例検討を行う。	修了判定の評価基準を参照	5症例	10症例
②適切な方法を用い、的確な診査、診断、検査結果の解釈をする。		5症例	10症例

【1ヶ月コース】

一般目標

外来でのモニター管理、静脈路確保、気道確保を含めた静脈内鎮静法の周術期管理、気管挿管などの高度な気道管理を含む全身麻酔の周術期管理を修得する。
研修歯科医は指導歯科医・上級歯科医の指導の下、治療を行う。（患者担当型）

行動目標	必要症例数	修了判定の評価基準
①外来での静脈内鎮静法、全身麻酔を実施する。		静脈内鎮静法5症例

【3ヶ月コース】

一般目標

外来、手術室でのモニター管理、静脈路確保、気道確保を含めた静脈内鎮静法の周術期管理、気管挿管などの高度な気道管理を含む全身麻酔の周術期管理を修得する。

研修歯科医は指導歯科医・上級歯科医の指導の下、治療を行う。（患者担当型）

行動目標	必要症例数	修了判定の評価基準
①外来、手術室での静脈内鎮静法、全身麻酔の症例検討を行い診療補助を行う。		5症例
②再建手術の周術期管理に必要な検査、モニタリングを説明し、医療面接を行う。		再建手術全身麻酔を可能なら
③再建手術の周術期管理に際し症例検討を行い診療補助として参画する		1症例

診療科名：あんしん科

一般目標

【1ヶ月コース・3ヶ月コース共通】

障害者・有病者の身体的および心理的な特徴と歯科診療上の留意点を理解する。また、患者の病態と臨床経過を把握し、医療面接から得られた情報をもとに、全身管理を主軸とした歯科治療計画のための知識・態度・技術を修得することができる。 指導歯科医・上級
 歯科医の指導の下、治療を行う（患者配当型）。

行動目標	必要症例数		修了判定の評価基準	
	1ヶ月	3ヶ月	1ヶ月	3ヶ月
①患者の全身状態の評価と、必要な対応を行うことができる。	修了判定の評価基準を参照		3症例	10症例
②患者の全身状態を把握したうえで、最適な治療計画を構築することができる。			1症例	5症例

【1ヶ月コース】

一般目標

障害者・有病者の全身状態から適切な評価と診断を行うことができ、必要な治療計画を立てることができる。また、行動調整法である行動療法、身体抑制法、吸入鎮静法を選択し適切に行うことができる。（患者配当型）

行動目標	必要症例数	修了判定の評価基準
①患者の全身状態の評価と、必要な行動調整法を選択することができる。	修了判定の評価基準を参照	3症例
②適切な行動療法、身体抑制法、吸入鎮静法を行うことができる。		10症例

【3ヶ月コース】

一般目標

1ヶ月コースの目標に加え、必要な治療計画を立て、その治療を実行することができる。また、専門的な行動調整法である静脈内鎮静法、全身麻酔法を行うことができる。周術期管理までを含めた患者管理を行うことができる。（患者配当型）

行動目標	必要症例数	修了判定の評価基準
①患者の全身状態の評価と、必要な行動調整法を選択することができる。	修了判定の評価基準を参照	10症例
②適切な行動療法、身体抑制法、吸入鎮静法を行うことができる。		20症例
③静脈内鎮静法を行うことができる。		10症例
④全身麻酔法を行うことができる。		5症例

診療科名：歯科放射線科				
一般目標				
【1ヶ月コース・3ヶ月コース共通】				
<p>歯科疾患を診断するための基本的画像の撮影法を習得する。</p> <p>歯科疾患を診断するための正常画像所見を習得する。</p> <p>日常臨床で遭遇する頻度の高い歯科関連疾患の臨床的及び画像的特徴を把握する。</p> <p>研修歯科医は指導歯科医・上級歯科医の指導の下、検査・診断を行う。（患者配当型）</p>				
	必要症例数		修了判定の評価基準	
行動目標	1ヶ月	3ヶ月	1ヶ月	3ヶ月
① デンタル・パノラマエックス線写真、歯科用CBCTの撮影	修了判定の評価基準を参照		20症例	30症例
② 成書、PACSにより正常画像解剖の学習			達成の基準として、口頭試問を必須とする。	
③ 読影報告書の作成 症例検討			10症例	30症例
④ 放射線防護に関する知識を習得する			口頭試問	
【3ヶ月コース】				
一般目標				
歯科放射線科医として必要な基礎知識を習得する。				
	必要症例数		修了判定の評価基準	
行動目標				
① エックス線CT、MRI、超音波検査およびPET画像を用いた総合画像診断を行うための症例検討、撮像補助、読影報告書の作成	修了判定の評価基準を参照		エックス線CT、MRIについては、3症例。	
② 放射線治療に関する知識を習得するため講義・レポート・症例検討を行う。			レポート、口頭試問	
③ 放射線防護・管理に関する知識を習得するため講義・レポート・実習を行う。			レポート、口頭試問	

診療科名：小児歯科**一般目標**

【1ヶ月コース・3ヶ月コース共通】

日常的に高頻度に遭遇する歯科疾患や機能障害を有する小児患者に安全な歯科保健医療を提供するために、基本的な歯科治療技術とマネジメント能力を身につける。

指導歯科医・上級歯科医の指導の下、診療を行う。（患者配当型）

各行動目標を経験した場合、それぞれを1例とする。

行動目標	必要症例数		修了判定の評価基準	
	1ヶ月	3ヶ月	1ヶ月	3ヶ月
① 小児の心身の発育状態に適した対応法をする。	修了判定の評価基準を参照	修了判定の評価基準を参照	1症例	3症例
② 主訴を的確に捉え、患者や保護者に適切に対応する。			1症例	3症例
③ 適切な検査方法を用い、的確な診査、診断する。			1症例	3症例
④ 1口腔単位を基本とした齲蝕治療を選択し、実施する。			1症例	3症例
⑤ 歯周疾患の診査、診断ができ、適切な処置をする。			1症例	3症例
⑥ 外傷歯に対する適切な処置をする。			1症例	3症例
⑦ 保険処置の診断ができ、適切な保険装置の作製および処置をする。			1症例	3症例
⑧ 乳歯抜歯の適応症が説明でき、実施する。			1症例	3症例
⑨ 軟組織疾患について診査、診断および適切な処置をする。			1症例	3症例
⑩ 患者の年齢、口腔状況に応じた予防処置をする。			1症例	3症例

診療科名：矯正歯科

【1ヶ月コース】

一般目標

歯や口腔機能を回復する役割を担う歯科の中における、矯正歯科の役割を理解するために、診察・検査・診断、治療計画立案、矯正装置の使用に関する基本的な知識・技能・態度を身につける。

研修歯科医は指導歯科医・上級歯科医とともに指導の下で検査、診断、治療を行う。

経験または見学した症例を各1症例として数える。

行動目標

	必要症例数	修了判定の評価基準
①初診医療面接を診療補助、見学する。	1 症例	3 症例
② 矯正歯科治療の概略（治療方法、ベネフィット、リスク、治療期間）を説明するため、歯式記録、全身的病歴、既往歴、家族歴を聴取する。		
③不正咬合に関係する口腔内・外診察を行うため矯正診断に必要な検査（印象・咬合採得、顎態模型の製作、顔面規格写真・口腔内写真撮影、頭部X線規格写真の撮影依頼）の実施、見学を行う。	1 症例	1 症例以上
④顔面・口腔内写真、X線写真の評価や、顎態模型、頭部X線規格写真の分析を行い、治療方針、治療計画を立案する。	1 症例	査結果の評価、診断、治療方針・治療計画立案について1症例以上レポートにまとめる。
⑤各種矯正装置の構造、機能を理解し、使用方法の説明に対する診療を見学、診療補助を行う。	10 症例	10 症例以上見学
⑥ 矯正治療の経過に対する診療を見学、診療補助を行う。		
⑦症例に関するカンファレンスや学会等に参加する。		カンファレンスにて発表することが望ましい。

診療科名：口腔環境科			
【1ヶ月コース・3ヶ月コース共通】			
一般目標			
<p>高齢者・障害者の身体的、精神的及び心理的特徴と歯科治療上の留意点を理解する。</p> <p>高齢者・障害者に多く見られる疾患の診断から治療(漢方治療、訪問診療を含む)まで修得する。</p>			
行動目標・研修内容	必要症例数	1ヶ月	3ヶ月
乾燥症、味覚障害、顎関節症、口腔内違和感、不定愁訴など)の診査、診断、治療(漢方治療、訪問診療を含む)の説明をし、医療面接、診療補助、症例検討、レポートを行う。	修了判定の評価基準を参照	2症例	5症例
②口腔機能低下、摂食機能障害、嚥下障害の診察、検査及び診断を説明し、医療面接、診療補助、症例検討、レポートを行う		1症例	2症例
③高齢者における口腔健康管理の処置を実施するため(訪問診療を含む)医療面接、症例検討、レポートを行う		1症例	2症例
④歯科口腔疾患に対する漢方薬の基本的な運用の取得を目指すとともに、難治性疾患等の診察、診断、治療を説明し、医療面接、症例検討、レポートを行う。		1症例	2症例

診療科名：地域包括歯科医療センター（DEM CAB）

一般目標

【1ヶ月コース・3ヶ月コース共通】

要介護高齢者、口腔機能低下症、摂食嚥下障害の病態と臨床経過を把握し、また全身病態との関連を把握して医療面接と口腔・身体診察から得られた情報をもとに必要な検査の適否を判断でき、結果の解釈ができる。

指導歯科医・上級歯科医の指導の下、治療を行う（患者配当型）。

適宜、歯科衛生士と連携し、指導を受ける。

行動目標	必要症例数		修了判定の評価基準	
	1ヶ月	3ヶ月	1ヶ月	3ヶ月
①口腔機能低下症、摂食嚥下障害の診査、診断、治療を説明する。	修了判定の評価基準を参照	修了判定の評価基準を参照	3症例	10症例
②適切な検査方法を用い、的確な診査、診断する。			3症例	10症例

【1ヶ月コース】

一般目標

外来患者の口腔機能低下症、摂食嚥下障害のスクリーニング、精密検査、診断からリハビリテーションまでの立案を修得する。歯科訪問診療に同行し、全身状態の把握、口腔内診査、口腔健康管理を行うために必要な知識、態度を修得する。

行動目標	必要症例数	修了判定の評価基準
① 口腔機能低下症、摂食嚥下障害への治療を実施する。		口腔機能低下症、摂食嚥下障害、歯科訪問診療における口腔健康管理、それぞれ1症例
②歯科訪問診療における口腔健康管理をはじめとする治療に参画する。		

【3ヶ月コース】

一般目標

外来患者の口腔機能低下症、摂食嚥下障害のスクリーニング、精密検査、診断からリハビリテーションまでの立案と実践に必要な知識、態度、技能を修得する。歯科訪問診療に同行し、全身状態の把握、口腔内診査、口腔健康管理を行うために必要な知識、態度、技能を修得する。

行動目標	必要症例数	修了判定の評価基準
①口腔機能低下症、摂食嚥下障害への治療を実施する。		口腔機能低下症、摂食嚥下障害、歯科訪問診療における口腔健康管理、それぞれ3症例
② 歯科訪問診療における口腔健康管理をはじめとする治療に参画する。		